

LEDバレイ構想行動計画

LED王国・徳島
～光がつなぐ人と未来へ～



平成22年3月

徳島県LEDバレイ推進協議会

目 次

第 1	行動計画策定の考え方	1
第 2	行動計画について	2
1	LEDバレイ構想と行動計画の関係（体系図）	3
2	LEDバレイ構想形成図	4
第 3	提言の概要	5
第 4	工程一覧表	7
第 5	提言内容	
1	地域ブランド化機能の整備	10
(1)	提言1 キャッチフレーズの策定	11
(2)	提言2 LED情報受発信の体制づくり	12
(3)	提言3 光の話題づくり	15
(4)	提言4 LEDショールームシティ	19
(5)	提言5 LEDの県民への周知	21
2	LED産業振興・インフラの整備	23
(1)	提言6 研究・新市場開拓の充実	24
(2)	提言7 LED応用製品の生産システムの構築	27
(3)	提言8 販売促進	29
(4)	提言9 人材確保・人材育成	31
(5)	提言10 インフラの整備	35

行動計画策定の考え方

徳島県は、平成 17 年 12 月に「21 世紀の光源である LED を利用する光（照明）産業の集積」を基本目標とする「LED バレイ構想」を策定し、その実現に向けて取り組んでいます。

世界に誇る「LED バレイ」の可能性の顕在化

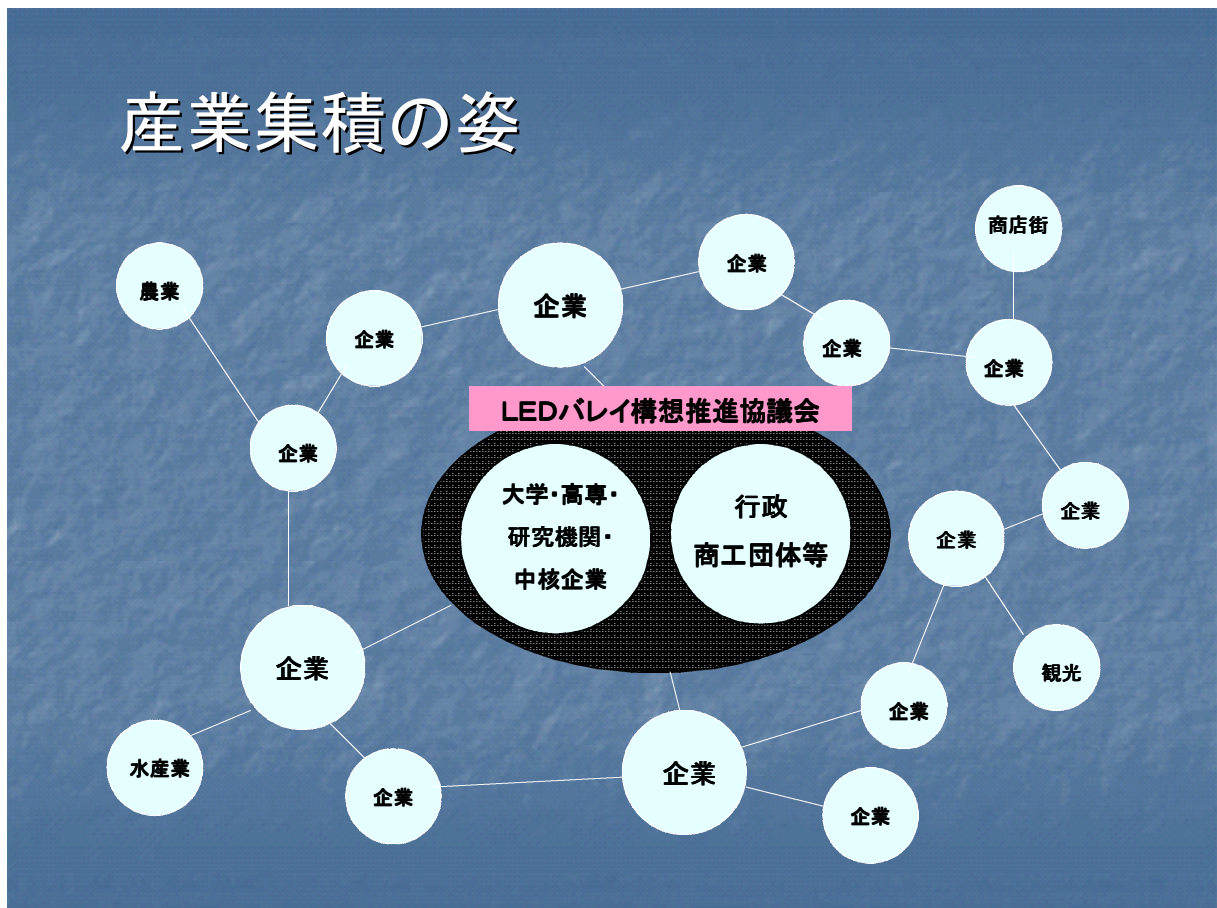
本県は、世界一の LED メーカーや理系大学・高専が立地、LED 関連産業集積の核となる重要な要素が既に存在し、世界に誇る「LED バレイ」となる高い可能性を秘めています。

LED 関連企業を集積させるためには、他県にない本県独自の高いポテンシャルを様々な取り組みにより、顕在化させる必要があります。

地域一体となった行動計画の取り組み

このため、LED バレイの実現に向け、具体的な 10 項目の行動計画を掲げ、それに基づいて企業、団体、県民、研究教育機関、行政それぞれが、連携、協力しながら主体的に取り組む、2010 年までに LED バレイの基礎となる 3 つの「地域ブランド化機能」「産業振興機能」「インフラ整備機能」を整備して参ります。

そして、日亜化学工業株式会社、高等教育機関を核として、企業や研究所が集積し、企業間、研究者間、産学官の交流が密に行われ、製造業、農林水産業、地場産業、サービス業など、幅広い分野で、新技術、新商品が次々と生まれる、日本を代表する光（照明）産業の集積地を目指します。



行動計画について

本行動計画は、2007年から2010年までの4年間の行動計画です。

「LEDバレイ徳島」の実現のために、地域が一体となって実施する各種取り組みを10提言にまとめたものが本行動計画です。

行動計画の取り組み

- 地域ブランド（キャッチフレーズの策定、情報受発信体制の整備、LEDフェスティバル等話題性のある取り組みによるブランド形成）
- 産業振興（全てのLED応用商品の開発・生産・販売が出来る産業集積形成）
- インフラ（LED技術者育成、最先端のLED研究開発地域形成）
- 構想推進（構想推進体制の整備）

有機的に連携した提言の取り組み

これらの取り組みは、独立した事業ではありません。

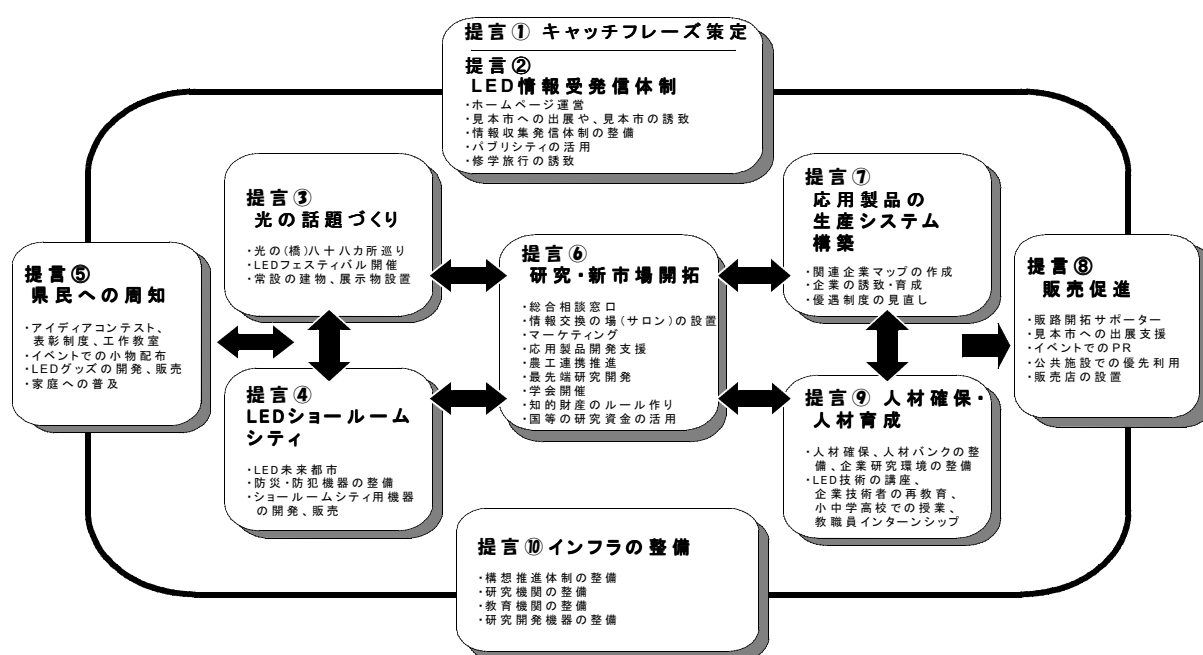
イベントの開催は、地域のPRだけでなく企業の製品開発を促進させます。

最先端の研究や企業支援は、LEDバレイをPRする重要なコンテンツでもありません。

10項目の提言が、有機的に連携した1つの取り組みとして計画を推進していくことが大切です。

行動計画体系図

LEDバレイ構想推進提言関係図

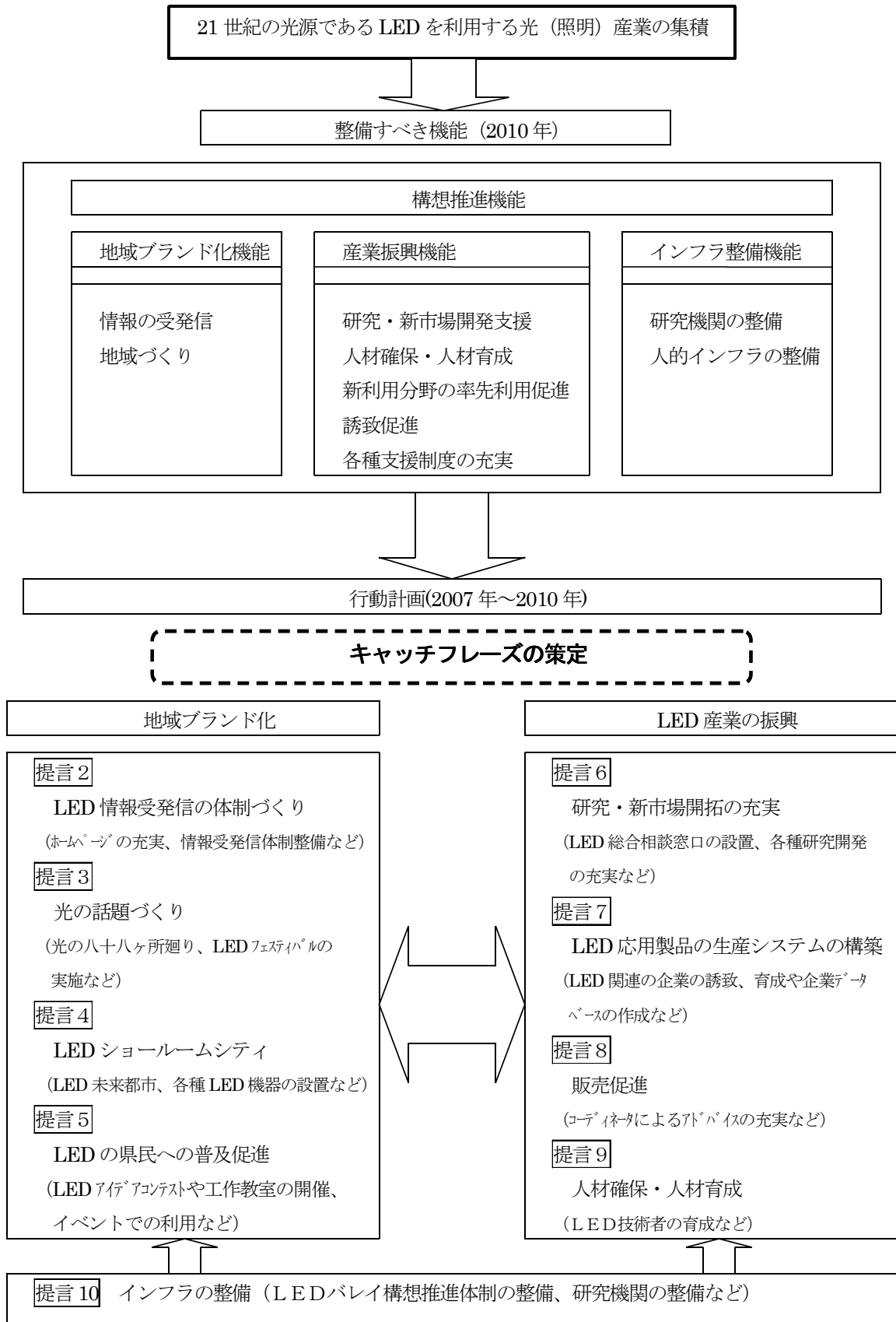


スピード、選択と集中、地域一体

行動計画に基づき、スピード感を持ち、選択と集中を行い、地域が一体となって各事業に取り組み、2010年までに「LEDバレイ構想」の「整備すべき機能」を整備し、「LEDバレイ徳島」の実現を目指します。

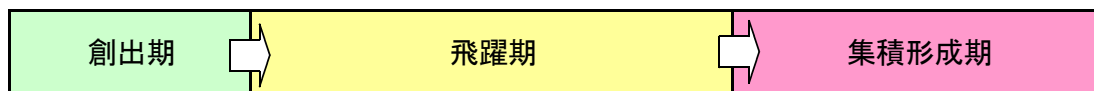
工程表には、各事業の役割分担案を記載しているが、地域が一体となって取り組むため、この案にとらわれず、積極的に事業を実施することが望まれます。

LEDバレイ構想と行動計画の関係（体系図）



LEDバレイ構想形成図

LEDバレイ構想の策定・PRと中小企業の参入があった、平成17、18年を創出期とする。
 行動計画を実行し産業集積の骨格を作る平成19年から22年を飛躍期、その後、平成27年までの5年間で集積形成期と位置づける。



		2005 (H17)	2006 (H18)	2007 (H19)	2008 (H20)	2009 (H21)	2010 (H22)	2011 (H23)	2015 (H27)
形成フェイズ	バレイ構想	平成17年12月 LEDバレイ構想策定		平成19年3月 LEDバレイ構想行動計画策定 (平成19年～平成22年)					
	企業集積の姿	中小企業の新規参入開始 研究企業・素材メーカー立地 農林水産分野での利用開始		中小企業参入拡大 LED関連企業(電子、金型等)の増加 農林水産分野利用拡大				LED応用製品の一大集積地	
	生産段階	試作・研究開発		製品・商品化・量産化				量産体制確立	
	情報受発信	徳島県内中心		全国へ				世界へ	

		これまでの取り組み	行動計画	
整備すべき機能	構想推進	平成18年8月 LEDバレイ推進協議会設置	構想推進体制の整備 (提言⑩)	光産業の集積地
	地域ブランド	LEDバレイ構想のPR	キャッチフレーズ策定、情報受発信の体制整備、光の祭典等、ショールームシティ等、話題性のある情報発信によるブランド形成 (提言①～⑤)	
	産業振興	LED応用製品の開発支援開始 異業種交流・研究会開始	全てのLED応用製品の開発・生産販売が出来る産業集積形成 (提言⑥～⑨)	
	インフラ	研究機器の整備	LED技術者の育成と最先端のLED研究開発地域 (提言⑥⑨⑩)	

提言の概要

I LED地域ブランド化

＜提言1キャッチフレーズの策定＞

LEDバレイ実現に向け、各事業を実施するにあたっては、関係者が「LEDバレイ徳島」の共通イメージを持って、その推進に取り組む必要があります。

そこで、まず始めに「LEDバレイ徳島」の統一キャッチフレーズを策定します。

＜提言2LED情報発信の体制づくり＞

「LEDといえば徳島」というイメージの構築のため、LEDに関するあらゆる情報を収集し、常に世界に向かって発信していく体制を整えます。

＜提言3光の話題づくり＞ ＜提言4LEDショールームシティ＞

光のイベントや街中、住宅でのLED製品の利用など積極的に話題性のある取り組みを実施し、情報発信を行います。

＜提言5LEDの県民への普及促進＞

県内では、県民が阿波踊りと同じように、LEDを「郷土の誇り」として認識していただけるよう、様々な取り組みを実施します。

II LED産業の振興・インフラ整備

＜提言6研究・新市場開拓の充実＞

LED産業の集積を促進するため、企業を技術的にサポートする必要があります。LED総合相談窓口を設立し、企業からの技術相談に対して迅速に適切な技術支援を行える体制を整えます。

また、研究機関の研究機器や研究体制を充実させ、農林水産分野や医療分野、木工業等の地場産業分野を含めた新市場分野で、最先端の研究開発を行います。

＜提言7LED応用製品の生産システムの構築＞

LED応用製品の製造を行うためには、製品に必要な部品を生産する企業や量産を行う企業を迅速に見つける必要があります。LED関連企業マップ（データベース）の作成や、電子機器受託生産企業（EMS企業）の誘致などを行い、LED応用製品の生産を効率的に行える体制を整えます。

＜提言8販売促進＞

製品の販売に関する課題を解決する必要があります。開発した製品の販売を効率的に行うため、販路開拓サポーターによる販路支援体制の整備や公共施設等での商品の優先利用を行うなど、販売促進を行います。

＜提言9人材育成・人材確保＞

常にイノベーションを続けるLEDバレイとなるには、人材の確保や人材の育成は重要な課題です。

教育機関による高度技術者の育成、企業技術者の再教育による技術力の向上など多方面から人材の確保・育成に取り組めます。

＜提言10インフラの整備＞

本行動計画の各事業は、それぞれの事業が有機的に連携して実施されることで、相乗効果が生まれ、より早く、よりすばらしい「LEDバレイ徳島」に近づくことが出来る内容となっています。そのため、本行動計画推進の中核となる組織を設立し、各事業の実施や調整を行うことが期待されます。

工程一覧表

区分		年度別区分				各事業の実施機関 (実施主体◎ 直接参加○)					
提言名	提言内容	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	企業	教育 研究 機関	各種 団体	行政	県民	
提言2	ホームページの充実	収集された情報を限定公開、一般公開するシステムの構築	更新			○	○	○	◎	○	
		県外見本市への出展	出展			○	○		◎		
	県外見本市への出展や見本市の誘致	見本市の誘致	誘致活動		開催			○	◎		
		LED関連の情報を効率的に収集、発信する体制について検討する	体制構築				○	○	○	◎	○
	情報収集、発信体制の整備	情報の収集、発信									
	パブリシティーの活用	マスコミと協力しながら、継続的にLED関連の情報を徳島から発信していく				○	○	○	○		
	修学旅行等の誘致	誘致方法の検討や企業等との調整など、誘致に係る準備を行う	誘致			○		◎	◎		
	ニュースレターの発行			実施		○	○	○	◎		
海外への情報発信				実施	○	○	○	◎			
提言3	光の(橋)八十八ヶ所めぐり	実行委員会の立ち上げ 八十八ヶ所の公募実施、地域ブランド化部会で認定 (認定目標22)	八十八ヶ所の公募実施、地域ブランド化部会で認定 (認定目標44)	八十八ヶ所の公募実施、地域ブランド化部会で認定 (認定目標66)	八十八ヶ所の公募実施、地域ブランド化部会で認定 (認定目標88)	○	○	◎	◎	○	
		「期間限定」光の八十八ヶ所の紹介	実施			○	○	○	◎	○	
	LEDフェスティバルの開催	LEDを利用した芸術イベントの実施	LEDフェスティバルにあわせて実施可能な年に実施				○	○	◎	○	
		光と音楽のコンサート									
		LEDファッションショーの開催									
	常設の建物、展示物の設置	LEDライティングショーの開催									
		既に行われているイベントとの連携									
		話題性のあるLEDライトアップの実施	順次設置				◎	◎	◎	◎	◎
LEDデザイナーに関するデータベースの構築			構築			○	○	◎			
提言4	LED未来都市	研究会の立ち上げ、検討を行う		実施		○	○	○	◎	○	
	県の玄関口や新たに建設する施設での利用		実施			◎	◎	◎	◎		
	交通事故や犯罪、災害等が起りやすい場所へのLED機器の整備	設置場所の選定 機器の取り付け		機器の取り付けを実施(効果を見ながら見直し等を行う)				○	◎		
	機器の開発、販売	開発・販売				◎	○	○	○		
	LED活用最新事例			実施		○	○	○	◎	○	
提言5	LEDの県民への普及促進	LEDアイデアコンテスト	アイデアコンテストの実施						◎	○	
		LEDに興味を持ってもらうための取組の実施	実施			○	○	○	◎	○	
		LED活用事例表彰制度の創設	実施						◎	◎	
	LED工作教室の開催							◎	◎		
	LEDを使用した製品(小物等)を配布しLEDに触れてもらう	利用				◎	◎	◎	◎		
徳島県民誰もが持つこ出来るLEDグッズの開発、販売	開発				◎	○	○	○			
LEDに関する知識の普及	実施							◎			

各事業の実施機関欄の印について
 二重丸「◎」は、事業の実施主体となる組織や人
 丸「○」は、事業の実施に直接参加する組織や人
 空欄「」は、事業を利用する組織や人

工程一覧表

区分		年度別区分				各事業の実施機関 (実施主体◎ 直接参加○)						
提言名	提言内容	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	企業	教育 研究 機関	各種 団体	行政	県民		
提言6	研究・新市場開拓の充実	LED総合相談窓口の充実	設置	更なる充実を図る			○		◎			
		情報交換の場の設置	設置				◎	◎		◎		
		LED製品の開発支援	実施				◎	◎		◎		
		マーケティングの充実	実施					○	◎	◎		
		農工連携の推進	実施					◎	○	◎		
		最先端の研究開発	実施					◎		○		
		学会の開催	徳島での学会の開催について働きかけを行う	アートフェスティバルなどのイベントと合わせるなど適切な時期に学会を開催する				○	◎		○	
		知的財産のルールづくり	検討、策定、実施	実施				◎	◎			
		国等の研究資金の有効活用	実施					◎	◎		○	
		大学、高等等のシーズの活用		実施				○	◎		○	
提言7	LED応用製品の生産システム構築	LED関連企業マップ(データベース)の作成	企業マップ等の作成 会員企業に限定公開	充実						◎		
		LED応用製品の生産に必要な分野の企業の誘致、育成	育成	具体的な実施方法について検討を行う	設立に向けた活動の実施			◎	○		◎	
			誘致	企業誘致活動							◎	
		企業ニーズに応じた優遇制度の見直し		状況に合わせて対応							◎	
		デザイン力の強化		実施	充実			◎	○	○	◎	
		企業のネットワーク化支援		配置				○	○	◎	◎	
		LED関連企業のネットワーク化				検討開始		◎	○	◎	◎	
提言8	販売促進	販路開拓サポーターによる販売支援	販路開拓サポーターによる企業へのアドバイスの実施						◎	○		
		県内外見本市への出展支援	見本市へ製品を持ち込みPRする				◎	○		○		
		LEDに特化した国内最大見本市への出展支援			実施			◎	○	◎	○	
		各種イベントでのPR	各イベントでPRを行う					◎		○	○	
		公共施設でのLED製品の優先利用	公共施設等で優先利用する						○	○	◎	
		LED・LED応用製品販売店の設置	検討を行う	出店				◎		○	○	
提言9	人材確保・人材育成	人材確保	人材確保	実施				◎				
			人材バンクの整備	整備	活用				◎		◎	
			研究環境の整備	整備			研究部門を持つ企業の増加		◎		○	
		人材育成	アプリケーション講座の設置	講座の開設	実施				◎			
			企業技術者への再教育	大学等で研修プログラムの構築を行う	実施				◎		○	
			LED技術者としての称号の付与			実施			◎		◎	
			子供の頃からLED教育	実施	充実させながら実施				○	◎		◎
			教職員のインターンシップ	実施					◎	◎		○
提言10	インフラの整備	LEDバレイ構想推進体制の整備	推進体制についての検討を行う	実施					○	◎		
		研究機関の整備	LEDに特化した研究機関の整備、強化					◎		○		
		教育機関の整備	整備					◎		○		
		研究開発機器を整備	整備					◎		◎		
		地球に優しい社会システムの整備		検討開始				○	◎	○	◎	
		環境・エネルギーの活用促進				活用促進		◎	◎	◎	○	

各事業の実施機関の印について
 二重丸「◎」は、事業の実施主体となる組織や人
 丸「○」は、事業の実施に直接参加する組織や人
 空欄「 」は、事業を利用する組織や人

LED地域ブランド化機能の整備

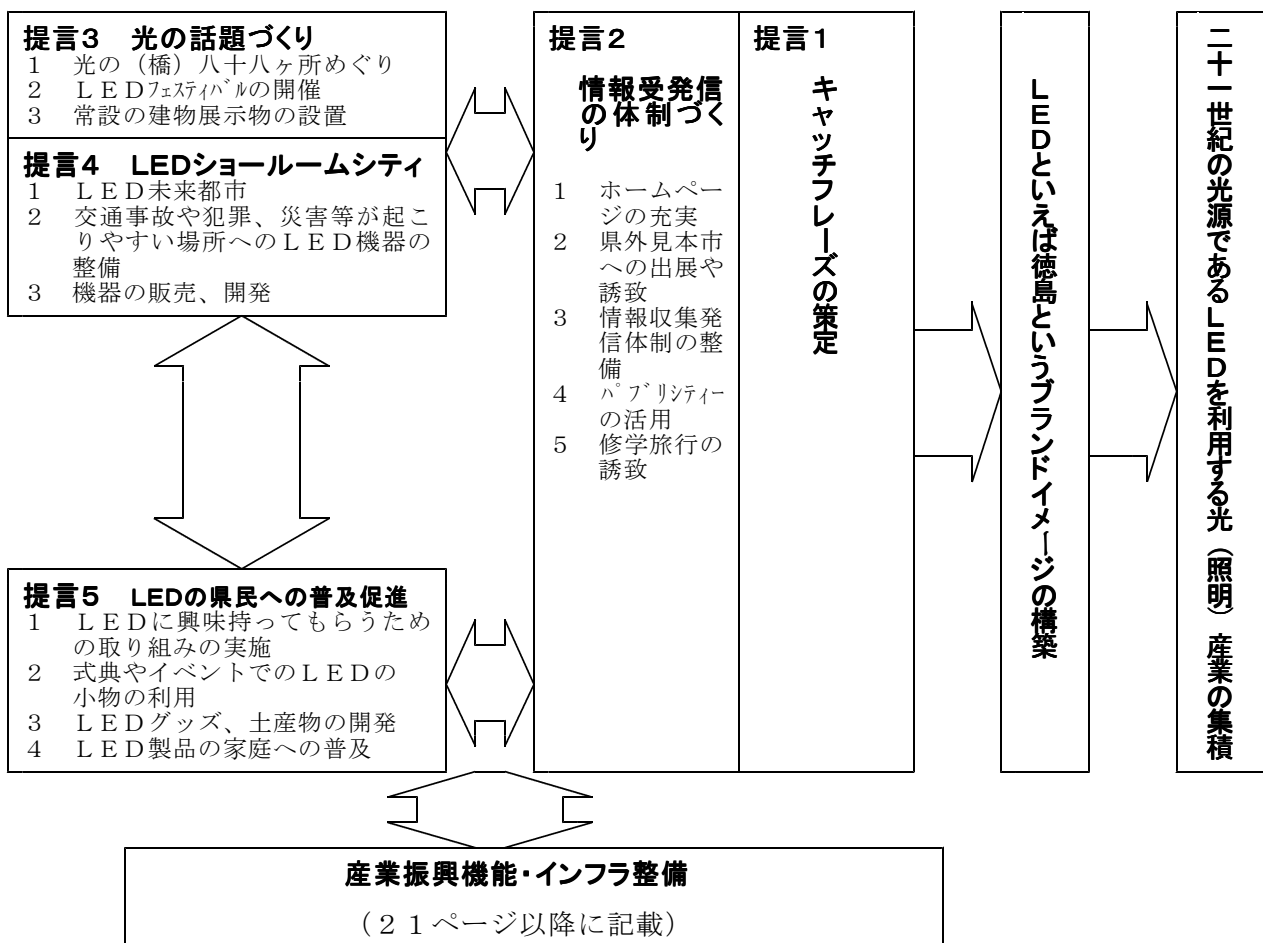
「LEDといえば徳島」というイメージの構築のため、LEDに関するあらゆる情報を収集し、県内、日本国内はもとより常に世界に向かって発信していく体制を整えます。

また、「LEDバレイ徳島」の共通イメージと情報発信のためキャッチフレーズを策定します。

光の祭典やLEDショールームシティなど、話題性のある取り組みを実現してまいります。

- 提言1 キャッチフレーズの策定
- 提言2 LED情報受発信の体制づくり
- 提言3 光の話題づくり
- 提言4 LEDショールームシティ
- 提言5 LEDの県民への普及促進

地域ブランド化体系図



提言1 キャッチフレーズの策定

I 内容

「LEDバレイ徳島」の共通イメージ構築と情報発信のため、キャッチフレーズを策定する。

キャッチフレーズは公募により決定する。

LED王国・徳島 ～光がつなぐ人と未来へ～【平成19年度策定】

II 提言内容・実施方法

1. キャッチフレーズの利用

ホームページ、パンフレット、各種イベント、名刺等で統一のキャッチフレーズとして積極的に利用する。

2. キャラクターの創出

「LEDといえば徳島」というブランドの構築と情報発信をさらに推進するため、「LED王国・徳島」のシンボルとなるキャラクターを創出し、キャッチフレーズとともに、ホームページ、パンフレット、各種イベント、名刺等で積極的に利用する。

提言 2 LED情報受発信の体制づくり

I 目的

LEDバレイ徳島を世界に発信するため、LEDの応用製品からイベント情報までLEDに関する情報を網羅するホームページの作成やパブリシティーを活用した情報発信、県外見本市への出展、修学旅行の誘致など「LEDバレイ徳島」を効果的に発信できる体制を整備し、「LEDといえば徳島」というブランドイメージを構築する。

II 提言内容・実施方法

1. ホームページの充実

現在、徳島県が作成しているLEDバレイ徳島ホームページにLEDに関するコンテンツを段階的に追加し、LEDのポータルサイトを目指していく。また、海外への情報発信を行うため英語や中国語など、外国語による情報発信を行う。

2. 県外見本市への出展や見本市の誘致

LEDバレイをPRするため県外で行われる見本市への出展や見本市の誘致を行う。

3. 情報収集・発信体制の整備

ホームページ等のコンテンツなど、LEDに関連する情報を迅速に収集するため、LEDバレイ構想参画企業や団体との連携を強固にし、最新の情報を収集、発信できる体制をつくる。

4. パブリシティーの活用

各提言にある事業や各団体が実施する事業の実施にあたっては、マスコミとの連携を進め、パブリシティーを活用する。

5. 修学旅行等の誘致

近年、観光地とともに産業（工場見学、企業見学、体験学習等）を修学旅行の行程に組み込む学校や観光旅行が増えてきている。この機会を捉え、徳島のLED産業を視察先、旅行先に選んでもらえるよう、企業等と連携して受け入れ態勢を整備し、誘致に向けた取り組みを実施する。

6. ニュースレターの発行

紙媒体としての特色を活かし、行動計画に盛り込まれた各種事業、及びLED関連企業、各種団体等の取り組み状況の紹介など、県内外へニュースレターとして情報提供を行い、「LED王国・徳島」に対する理解と関心を深める。

7. 海外への情報発信

LEDバレイ構想に関する英語版、中国語版を作成し、パネル、冊子、ホームページ等で情報発信を行う。

Ⅲ 収集、発信する情報（コンテンツ）について

1. LEDバレイ構想について
2. イベント情報
3. LED関連企業についての情報
4. 企業の製品についての情報（各企業の開発した製品）
5. 最新技術についての情報（大学・高専等の研究者と連携し最新の情報を発信）
6. LED相談窓口、技術支援についての情報
7. 企業支援制度についての情報
8. 環境問題とLEDに関する情報

Ⅳ 期待される波及効果

1. 製品開発支援など各種支援体制の情報が各企業に届き、県内企業のLED分野への進出や県外企業県内への進出が促進される。
2. イベント情報や各事業の情報を効果的に発信することで観光客や視察の増加が期待できる

V 工程表

区分		年度別区分				各事業の実施機関 (実施主体◎ 直接参加○)					
提言名	提言内容	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	企業	教育 研究 機関	各種 団体	行政	県民	
情報受発信体制の整備 2	ホームページの充実	収集された情報を限定公開、一般公開するシステムの構築	更新			○	○	○	◎	○	
	県外見本市への出展や見本市の誘致	県外見本市への出展	出展			○	○		◎		
		見本市の誘致		誘致活動		開催			○	◎	
	情報収集、発信体制の整備	LED関連の情報を効率的に収集、発信する体制について検討する	LED関連の情報を効率的に収集、発信する体制について検討する	体制構築			○	○	○	◎	○
		情報の収集、発信									
	パブリシティの活用	マスコミと協力しながら、継続的にLED関連の情報を徳島から発信していく					○	○	○	○	
	修学旅行の誘致	誘致方法の検討や企業等との調整など、誘致に係る準備を行う	誘致				○		◎	◎	
	ニューズレターの発行			実施			○	○	○	◎	
海外への情報発信				実施		○	○	○	◎		

提言3 光の話題づくり

I 目的

LEDを利用した話題性のある常設の景観照明やモニュメントの展示、LEDを利用した芸術性の高い光イベントを開催し、LEDバレイ徳島をPRする。

また、事業の実施にあたっては、企業等が開発した最先端のLED機器を利用するなどLEDの先進地をイメージさせる特徴ある取り組みを行い、「LEDといえば徳島」といわれるような地域ブランド化を図る。

II 提言内容・実施方法

1. 「光の（橋）八十八ヶ所めぐり」

LEDを利用した八十八ヶ所の常設による景観照明やモニュメントなどを認定するとともに、光の八十八ヶ所めぐりの一環事業として、期間限定による景観照明やモニュメントなどを紹介し、各種イベントを実施する。

(1) 光の（橋）八十八ヶ所の候補地について

公共施設（橋、公団、観光地など）や民間施設（ビル、レストランなど）

(2) 八十八ヶ所の認定について

八十八ヶ所の認定については、地域ブランド化部会が調査や公募により認定する。なお、計画期間より早期に八十八ヶ所の認定が完了するよう努力する。

LED照明機器等の設置や管理については、各団体が行う。

(3) 機器の開発について

事業の実施にあたっては、県内企業と共同で製品開発するなど企業と協力しながら徳島県独自の照明演出を行い、他地域にない独自色が強いものとする。

(4) 光の八十八ヶ所関連事業の実施について

光の八十八ヶ所の認定地が一同に集まる「光の八十八ヶ所連絡会議」を開催し、各認定地が連携した取り組みについて協議し、実施する。

(5) PR方法について

① ホームページのコンテンツの充実

② 雑誌、新聞、テレビ、ラジオに取り上げられるよう、クリスマスや阿波踊

り時期、橋の完成時などにはマスコミに情報提供を行う（点灯式等）

- ③ 県の広報誌や市町村の広報誌によるPR
- ④ タウン誌や地元マスコミとタイアップしたPR

2. LEDフェスティバルの開催

LEDに関連する各種イベントを同時期に開催し、LEDバレイ徳島をPRする。

(1) LEDを利用した芸術イベントの実施

芸術家の発想と企業の技術力をマッチングさせ、LEDを利用したアート作品展や光と音楽を組み合わせたイベントを実施する。

(2) 光と音楽のコンサート

LEDの光と音楽を組み合わせた幻想的なコンサートを開催する。

(3) LEDファッションショーの開催

LEDをカッコよく、綺麗にファッションに取り入れた事例やLEDを組み込んだ衣服のファッションショーを開催する。

(4) LEDライティングショー（LED見本市）の開催

世界のLED企業が集まるLEDの見本市を行う。

(5) 阿波踊り等、既に行われているイベントとの連携

阿波踊りの演舞場や衣装などでのLEDの活用やLEDイベントを効果的に利用し、より魅力的な阿波踊りの演出を行う。

また、各地で行われている灯籠流しや鯉祭りなどの祭りやイベントでのLEDの利用を促進する。

3. 常設の建物、展示物の設置

(1) 話題性のあるLEDライトアップの実施

現在、阿南の牛岐城趾公園が「恋人の聖地」に選ばれ話題となっている。このような話題性のあるライトアップを県内各地で行う。例えば、徳島の中心市街地である徳島駅前から眉山にかけてのライトアップや新町川沿いのライトアップなどを実施する。

(2) LEDミュージアム、LEDオブジェの設置

大人から子供まで楽しむことが出来る光ミュージアムやLEDを用いた噴水を設置する。

観光客が訪れる観光スポットなどにLEDを利用したオブジェ、LEDの花等を設置する。

(3) 徳島ならではの風景を照らすLEDの設置

阿波踊りの練習場にLED照明を設置し、阿波踊りの練習風景と併せてPRする。

川沿いにLEDを効果的に設置し、川辺の散歩やクルージングをしながら楽しむイルミネーション、LEDを利用した農作物のハウス栽培の光など徳島ならではの風景をLEDで映し出す取り組みを実施する。

4. 光デザイナーに関するデータベースの構築

LEDの持つ多彩な光をデザインによるコンセプトのもと、効果的なライティングで設置や装飾できるよう、デザイナー情報を構築する。

Ⅲ 期待される波及効果

1. 夜の観光客が多く見込まれるため宿泊客の増加につながる
2. LEDバレイに対する企業、県民、団体の意識が向上し、LEDイルミネーション等、LEDを使ったイベント等の取り組みへの県民の参加やLED応用製品の購入増など地域が一体となった取り組みが期待できる
3. 企業が開発した製品のPRの場所になり、販売促進につながる。また、LED応用製品開発に取り組む企業の開発意欲の増加し、芸術分野でのLEDの応用、土産物などLEDグッズの開発などが促進される。

IV 工程表

区分		年度別区分				各事業の実施機関 (実施主体◎ 直接参加○)					
提言名	提言内容	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	企業	教育 研究 機関	各種 団体	行政	県民	
3 光の 話題 づくり	光の(橋)八十八ヶ所めぐり	実行委員会の立ち上げ 八十八ヶ所の公募実施、地 域ブランド化部会で認定 (認定目標22)	八十八ヶ所の 公募実施、地 域ブランド化 部会で認定 (認定目標 44)	八十八ヶ所の 公募実施、地 域ブランド化 部会で認定 (認定目標 66)	八十八ヶ所の 公募実施、地 域ブランド化 部会で認定 (認定目標 88)	○	○	◎	◎	○	
	「期間限定」光の 八十八ヶ所の紹介		実施			○	○	○	◎	○	
	LEDを利用した芸 術イベントの実施	LEDフェスティバルにあわせ て実施可能な年に実施				○	○	◎	○		
	光と音楽のコン サート										
	LEDファッション ショーの開催										
	LEDライティング ショーの開催										
	既に行われている イベントとの連携										
	常設 の建 物、 展 示 物 の 設 置	話題性のあるLED ライトアップの実施	順次設置				◎	◎	◎	◎	◎
	LEDミュージア ム、LEDオブジェ の設置										
	徳島ならではの風 景を照らすLEDの 設置										
光デザイナーに関する データベースの構築			構築			○	○	◎			

提言4 LEDショールームシティ

I 目的

LEDを使った信号機、視線誘導灯、歩車道境界線表示照明、階段照明、防犯灯、街路灯、避難誘導灯の整備、トンネルや夜間暗く危険な道へのLED照明の導入など、LEDを用いて安心安全な街をつくり、交通事故や犯罪を減少させる。

また、最先端のLED製品を利用した実験都市、モニタリングエリアとなるモデル地区をつくり、LED製品の有用性を実証する。

II 提言内容・実施方法

1. LED未来都市

LED関連企業や行政が連携し、住宅内の照明や街路灯など、全ての照明をLED化した、豊かな自然と共生する省CO₂型のモデル地区をつくる。

また、ユニバーサルデザインで、町並みと調和するデザインを用い、交通弱者や高齢者に優しい配置を行う。

2. 県の玄関口や新たに建設する施設での利用

駅など、県の玄関口にあたる場所や新たに建設する施設でのLEDの使用を推進する。

3. 交通事故や犯罪、災害等が起りやす場所へのLED機器の整備

災害や事故などが起りやすい危険な場所に効果的にLED機器を配置する。

ハード面の整備については行政が主体的に行う。

4. 機器の開発、販売

企業は、ショールームシティで利用できる製品の開発に取り組む。機器の開発にあたっては徳島大学、阿南高専、県立工業技術センターなどによる技術支援や実証実験、社会実験の場所を研究機関や行政が提供するなど研究開発を総合的にサポートする。

また、行政等が開発された製品を率先利用するなど製品の販売を促進する。

5. LED活用最新事例

県内外における住宅、公共施設、商業施設、イルミネーションなどへのLED活用について情報収集し、優れた事例をホームページ等に掲載する。

Ⅲ 期待される波及効果

1. 視察の増加など、交流人口が増加し、経済効果が期待できる

Ⅳ 工程表

区分		年度別区分				各事業の実施機関 (実施主体◎ 直接参加○)				
提言名	提言内容	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	企業	教育 研究 機関	各種 団体	行政	県民
LED シ ョ ー ル ム シ テ ィ 4	LED未来都市	研究会の立ち上げ、検討を行う		実施		○	○	○	◎	○
	交通事故や犯罪、災害等 が起りやすい場所への LED機器の整備	設置場所の選定 機器の取り付け		機器の取り付けを実施(効果を見ながら見直し等を行う)				○	◎	
	機器の開発、販売	開発・販売				◎	○	○	○	
	LED活用最新事例				実施	○	○	○	◎	○

提言5 LEDの県民への普及促進

I 目的

LEDは、信号機、携帯電話など身近なものに使われているが、LEDの特徴やメリットについては、まだよく知らない人も多い。また、徳島が世界有数のLEDの生産拠点であるということについても十分認知されていない。LEDアイデアコンテストやLED工作教室などLEDに触れる機会を増やすことで、県民に「LEDといえば徳島」という認識を持ってもらい「郷土の誇り」、「宝」として「阿波踊り」と同じように県民一人ひとりが県外の人達へPRしてもらえるようにする。

II 提言内容・実施方法

1. LEDに興味を持ってもらうための取り組みの実施

LEDアイデアコンテストやLED活用事例表彰制度（LEDを効果的に活用した事例に対する表彰）を実施する。

また、民間団体、行政等が連携し、LEDを使用した作品をつくるLED工作教室等を各種イベントなどで実施する。

2. LEDを使用した製品（小物等）を配付し、LEDに触れてもらう

各民間団体等で式典やイベント、阿波踊りなどで、LEDの小物等を利用する。

3. 徳島県民誰もが持つことできるLEDグッズの開発、販売

多くの徳島県民が所有することのできるLEDグッズを開発し、各種イベントなどで利用する。また、将来的にはそれが徳島の代表的な土産物になるようにする。

4. LEDに関する知識の普及

県庁舎等でのLEDの展示を通じて、LEDが環境に優しく、経済的な照明であるということを多くの方に知っていただき、LEDの家庭への普及を促進する。

III 期待される波及効果

1. LEDバレイ徳島のPRにつながる

2. 企業のLED製品開発や販路拡大が促進される

IV 工程表

区分		年度別区分				各事業の実施機関 (実施主体◎ 直接参加○)					
提言名	提言内容	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	企業	教育 研究 機関	各種 団体	行政	県民	
提 言 5	LEDの県民への普及促進	LEDアイデアコンテスト	アイデアコンテストの実施						◎	○	
		LED活用事例表彰制度の創設	実施				○	○	○	◎	○
		LED工作教室の開催	実施						◎	◎	
	LEDを使用した製品(小物等)を配布しLEDに触れてもらう	利用				◎	◎	◎	◎		
	徳島県民誰もが持つこの出来るLEDグッズの開発、販売	開発				◎	○	○	○		
	LEDに関する知識の普及	実施							◎		

産業振興・インフラ機能の整備

LED関連産業を集積させるため、研究・新市場開拓支援や応用製品の生産システム構築などLED関連企業への各種支援策の充実を図るとともに、人材育成・人材確保やインフラ整備も図ります。

また、開発されたLED製品を支援するための販売促進も図って参ります。

提言6 研究・新市場開拓の充実

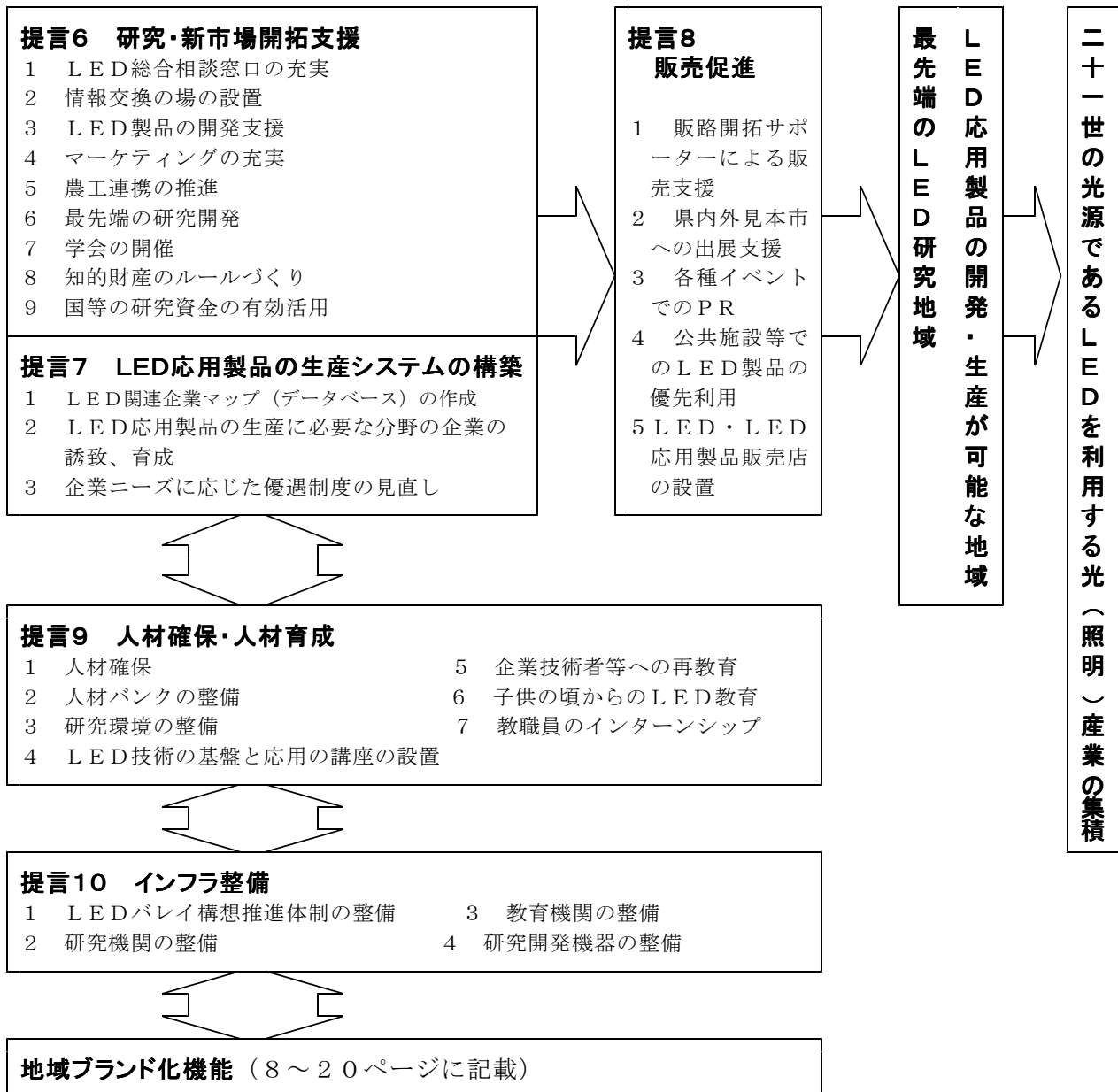
提言7 LED応用製品の生産システムの構築

提言8 販売促進

提言9 人材確保・人材育成

提言10 インフラの整備

産業振興・インフラ体系図



提言 6 研究・新市場開拓の充実

I 目的

木工業や機械金属業など、本県の地場産業でLEDを利用した製品開発に取り組む企業が出てきているが、LED応用製品の市場情報やLEDに関する知識、電気関係の技術を持たない企業等が多く、技術支援等の充実に対する強い要望がある。

このため、現在、県立工業技術センターを中心に実施している技術相談や開発支援を、産学官が連携して、より迅速に、適切な技術支援を行える体制を整え、県内企業のLED産業への参入やLED応用製品の開発を促進する。

また、農林水産業でのLED利用が全国的に進んでいるものの、動植物に対する光の作用については、科学的裏付けがとれていない分野が多いため、基礎データの収集などの研究が必要である。

さらに、工業分野においてもLEDの放熱対策など応用製品を開発する上で解決すべき課題がある。

LED関連の研究を充実させることにより応用製品の開発や農林水産業でのLEDを利用を促進するとともに、最先端のLED研究拠点を目指す。

II 提言内容・実施方法

1. LED総合相談窓口の充実

大学・高専や公設研究機関、企業の技術者の専門分野や各機関の持つ検査機器等の状況を調査する。そして、各機関で行うことが出来る支援内容を整理し、支援を求める企業等に対して迅速に適切な人材や組織を紹介できる体制を整える。

2. 情報交換の場の設置

LED未利用分野でのLED利用やLED製品の開発、製造等を促進するためLED関連企業の技術者や大学、高専等の研究機関の研究者などが意見交換を行う交流サロンを設置し、異業種交流や技術者間の交流を活発に行う。

また、徳島県にLED関連の専門家を招いてフォーラムを開催する。

3. LED製品の開発支援

LEDを利用した新しい製品を開発しようとする企業に対して、県立工業技術センターや大学・高専等が開発支援を行う。

4. マーケティングの充実

市場を意識した開発支援や販売支援を行うため、LED関連のマーケティング調査を実施する。また、新たにLED応用製品の開発に取り組む企業等に照明、ディ

バイス等、LED市場の情報を提供する

5. 農工連携の推進（光の作用についての研究）

農林水産業でのLED利用を促進するため公設研究機関や大学・高専等において、農産物や生物等への光の作用（成長促進、病気抑制、害虫対策等）について科学的解明を行う。

また、それらの研究を用いた農作物の管理システムの研究を行う。

6. 最先端の研究開発

研究機関においては、LEDの放熱対策の研究やLEDの殺菌、除菌効果の研究、白色LEDによるkw級ナノ秒台のパルス光源の開発、LED虫除けゲート、LD（レーザーダイオード）を利用した製品開発、LEDを利用した医療の研究、医療機器の開発などの分野において最先端の研究を行う。

7. 学会の開催

LED関連の各種学会を開催し、最先端の知識が集まる体制を整備する。

8. 知的財産のルールづくり

共同研究における知的財産のルールを確立し、競争力を高める。

9. 国等の研究資金の有効活用

経済産業省や文部科学省などが実施する競争的資金を有効に活用し、研究を行う。

10. 大学、高専等のシーズの活用

大学、高専等の研究シーズと企業ニーズのマッチングを促進する。

III 期待される波及効果

1. 最先端の研究が充実することにより、企業誘致や農工連携が促進される。
2. 研究者など優秀な人材が流入する。

IV 工程表

区分		年度別区分				各事業の実施機関 (実施主体◎ 直接参加○)					
提言名	提言内容	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	企業	教育 研究 機関	各種 団体	行政	県民	
LED 応用 製品 の 生産 シ ス テ ム の 構 築	LED総合相談窓口の充実	設置	更なる充実を図る				○		◎		
	情報交換の場の設置	設置				◎	◎		◎		
	LED製品の開発支援	実施				◎	◎		◎		
	マーケティングの充実	実施					○	◎	◎		
	農工連携の推進	実施				◎	◎	○	◎		
	最先端の研究開発	実施				◎	◎		○		
	学会の開催	徳島での学会の開催について働きかけを行う		アートフェスティバルなどのイベントと合わせるなど適切な時期に学会を開催する			○	◎		○	
	知的財産のルールづくり	検討、策定、実施		実施			◎	◎		○	
	国等の研究資金の有効活用	実施					◎	◎	○	○	
	大学、高専等のシーズの活用			実施			○	◎		○	

提言 7 LED応用製品の生産システムの構築

I 目的

県内企業が開発した製品の試作や量産を行う場合、県内で回路設計や金型などの精密加工を行っている企業の情報を持っていないため、県内で委託先企業を探すことが出来ず、県外企業に委託し製造しているケースがある。そのため、委託先企業を探すのに時間やコストがかかっており、開発企業の負担が大きくなっている。

また、県内に委託生産を行う専門会社が少なく、製品の量産を進める場合の課題となっている。

こうした中、LED応用製品の製造を行う上で課題となっている業種を徳島県内に誘致、又は育成することで、LED応用製品製造の効率化を図る。

II 提言内容・実施方法

1. LED関連企業マップ(データベース)の作成

県内の各企業が、どのような技術・受注実績を持っているのかといった実態調査を行い、製品の開発や製造に必要な企業をすぐに見つけることができるデータベースを作成し、LEDバレイ構想参画企業へ情報提供を行う。

2. LED応用製品の生産に必要な分野の企業の誘致・育成

LED応用製品開発専門会社や電子機器受託生産企業(EMS企業)、県内企業の技術力向上など、LED応用製品の開発や生産を行う上で必要な業種の誘致や育成に必要な各種調査を行い、具体的な誘致方法や立ち上げ方法について検討する。検討結果をもとに、企業への立地交渉や新たな企業の立ち上げに向けた取り組みを実施する。

3. 企業ニーズに応じた優遇制度の見直し

行政は企業ニーズに応じた適切な優遇制度を構築し、当該業種の誘致や育成を促す。

4. デザイン力の強化

LED応用製品のデザイン性を高めるため、工業製品のデザイン事務所やデザイナーの情報を提供する。

5. 企業のネットワーク化支援

LED応用製品の製造や開発を支援するため、企業間マッチングを行うアドバイザーを配置する。

6. LED関連企業のネットワーク化

LED関連企業の相互連携を推進することにより、各企業の強みを相互に活用し、調達、技術、販売促進など、一層の競争力の強化を図る。

Ⅲ 期待される波及効果

1. LED応用製品の開発から製造までの期間が短縮され、企業のコスト削減が期待できる。

Ⅳ 工程表

区分		年度別区分				各事業の実施機関 (実施主体◎ 直接参加○)					
提言名	提言内容	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	企業	教育 研究 機関	各種 団体	行政	県民	
提 言 7	LED関連企業マップ(データベース)の作成	企業マップ等の作成 会員企業に限定公開	充実						◎		
	LED応用製品 の生産に 必要な分野 の企業の誘 致、育成	育成	具体的な実施方法について 検討を行う	設立に向けた 活動の実施			◎	○		◎	
		誘致	企業誘致活動							◎	
	企業ニーズに応じた優遇 制度の見直し	状況に合わせて対応							◎		
	デザイン力の強化		実施	充実		◎	○	○	◎		
	企業のネットワーク化支 援		配置			○	○	◎	◎		
	LED関連企業のネット ワーク化				検討開始	◎	○	◎	◎		

提言 8 販売促進

I 目的

新たにLED関連製品の製造を始めた企業の中には、製品の販売促進支援が必要な企業がある。このような企業を支援するため、販路開拓サポーターによる販路開拓支援や効果的な製品PRにより、企業が製造した製品をスムーズに販売ルートに乗せる。

II 提言内容・実施方法

1. 販路開拓サポーターによる販売支援

製品の販売についての経験や人脈を持つ販路開拓サポーターが、商社とのマッチングを支援するなど、企業の販路開拓をサポートする。

2. 県内外見本市への出展支援

LEDに特化した国内最大の見本市への出展支援をはじめ、県内外で開催される各種見本市への出展を支援する。

3. 各種イベントでのPR

各種イベントで県内企業の開発した製品を利用し、マスコミやホームページを通じて製品をPRする。

4. 公共施設等でのLED製品の優先利用

公共施設において県内企業の開発した製品を利用することにより、官公庁での受注実績を挙げ、企業の販路開拓を支援するとともに製品をPRする。

6. LED・LED応用製品販売店の設置

LED製品を専門に扱う店や、LEDの小物・土産物の購入ができるアンテナショップの出店を推進する。

III 期待される波及効果

LED応用製品が利益を上げる事業になることで、研究開発や新規参入が促進される。

IV 工程表

区分		年度別区分				各事業の実施機関 (実施主体◎ 直接参加○)				
提言名	提言内容	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	企業	教育 研究 機関	各種 団体	行政	県民
8 提 言 販 売 促 進	販路開拓サポーターによる販売支援	販路開拓サポーターによる企業へのアドバイスの実施						◎	○	
	県内外見本市への出展支援	見本市へ製品を持ち込みPRする				◎	○		○	
	LEDに特化した国内最大見本市への出展支援			実施		◎	○	◎	○	
	各種イベントでのPR	各イベントでPRを行う				◎		○	○	
	公共施設でのLED製品の優先利用	公共施設等で優先利用する					○	○	◎	
	LED・LED応用製品販売店の設置	検討を行う		出店			◎		○	○

提言 9 人材確保・人材育成

I 目的

県内企業が求める技術者の確保が難しい。あるいは、技術者が企業に就職しても、開発体制が十分でない企業も一部にあり、研究開発に専念できないといった雇用のミスマッチが起きている。優秀な技術者と研究開発型企业とを適切にマッチングすることで、企業の技術力を向上させる。

また、中小企業ではLED産業へ新たに参入する場合、コストの面から新たに技術者を雇用することが困難な場合がある。このような企業では、技術者を再教育し、応用製品の開発を行える体制を構築する。

子供の頃からLEDに関連する教育を行い、長期的にLEDの専門家を育てる取り組みを行い、技術者の養成をする。

高等教育機関では最先端のLED技術を学べるよう各種講座を充実させる。

II 提言内容・実施方法

1. 人材確保

(1) 人材確保

大学や高専、専門高校において優秀な人材を育成し、県内企業に就職できる仕組みを整備する。

(2) 人材バンクの整備

研究開発型企业の状況を、学生等の就職を希望する技術者へ情報提供し、就職先に結び付く仕組みを整える。

(3) 研究環境の整備

企業の研究環境の整備を促進し、研究開発型企业を増やす。

2. 人材育成

(1) LED技術の基礎と応用の講座を設置

新たに大学・高専においてアプリケーション開発の講座等を設置し、LED技術者を養成することにより、製品開発を促進するとともに、雇用の確保を図る。

(2) 企業技術者への再教育

LEDバレイ構想推進コーディネータや大学・高専等の専門家や光関連の企業等を退職した団塊世代の専門家による講義や支援などを実施する。また、このためのLED研修プログラムを策定し、企業技術者等に対して教育を行う。

(3) LED技術者としての称号の付与

徳島県南のLED関連技術者養成講座の修了生に対し、LED技術者としての称号を付与し、技術者としての活動を推進する。

(4) 子供の頃からのLED教育

小中高校等へLED専門家を派遣し、それぞれのレベルに応じた講義等を実施する。

また、LEDを用いた技術家庭科や理科の授業を実施するとともに、LEDを利用した教材の開発を産学官が連携して行う。

(5) 教職員のインターンシップ

学校教員の中小企業等へインターンシップや教員へのLED教育を大学や高専等の教育機関や企業が連携して実施する。

III 期待される波及効果

県外から優秀な人材が集まってくる。

IV 工程表

区分		年度別区分				各事業の実施機関 (実施主体◎ 直接参加○)					
提言名	提言内容	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	企業	教育研究機関	各種団体	行政	県民	
提言9	人材確保	人材確保	実施				◎				
		人材バンクの整備	整備	活用			◎		◎		
		研究環境の整備	整備			研究部門を持つ企業の増加	◎			○	
	人材育成	アプリケーション講座の設置	講座の開設	実施				◎			
		企業技術者への再教育	大学等で研修プログラムの構築を行う	実施				◎		○	
		LED技術者としての称号の付与			実施			◎		◎	
		子供の頃からのLED教育	実施	充実させながら実施				○	◎		◎
		教職員のインターンシップ	実施					◎	◎		○

提言 10 インフラの整備

I 目的

地域が一体となってLEDバレイ構想を推進するため、中核となって事業を行う事務局を設立し、効率的に行動計画を推進する体制の創設に取り組む。また、LEDに特化した研究機関の整備、強化や高等教育機関の機器の整備など、推進体制や研究教育機関をさらに充実させることにより、各事業を効率的に実施し、LEDバレイ徳島を早期に実現する。

II 提言内容・実施方法

1. LEDバレイ構想推進体制の整備

LEDバレイ構想の推進に係る事務事業を行う「LEDバレイ構想推進協議会事業推進部（仮）」を創設する。

2. 研究機関の整備

県内にLEDに特化した研究機関を整備する。

3. 教育機関の整備

徳島大学や阿南高専、専門高校など、高等教育機関において実習機器の充実など高度な技術を学べる体制を整備する。

4. 研究開発機器の整備

各研究機関がLED応用製品の開発や研究に必要な研究機器を整備する。

5. 地球に優しい社会システムの整備

地球に優しい社会システムの研究に取り組む。

6. 環境・エネルギーの活用促進

太陽電池、LED、リチウムイオン電池、風力発電など省エネ技術などを組み合わせた環境負荷の低減に配慮した製品の普及促進を図る。

III 期待される波及効果

県外から優秀な人や企業が集まる。

Ⅲ 工程表

区分		年度別区分				各事業の実施機関 (実施主体◎ 直接参加○)				
提言名	提言内容	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	企業	教育 研究 機関	各種 団体	行政	県民
提 言 1 0	LEDバレイ構想推進体制の整備	推進体制についての検討を行う →	実施					○	◎	
	研究機関の整備	LEDに特化した研究機関の整備、強化 →					◎		○	
	教育機関の整備	整備 →					◎		○	
	研究開発機器を整備	整備 →					◎		◎	
	地球に優しい社会システムの整備		検討開始			○	◎	○	◎	
	環境・エネルギーの活用促進				活用促進 →	◎	◎	◎	◎	○